

研究・調査報告書

報告書番号	担当
498	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Population-based estimates of medical comorbidities in erectile dysfunction in a Taiwanese population. 台湾人における勃起障害についての医学的合併症の推定	
執筆者	
Chung SD, Chen YK, Kang JH, Keller JJ, Huang CC, Lin HC.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Sex Med. 2011;8:3316-24	
キーワード	
台湾、勃起障害、循環器疾患、アルコール中毒	
要 旨	
<p>背景： 勃起障害は通常系統的障害と関連があるが、台湾人男性については、この話題について現存する情報は乏しいままである。本研究の目的は、一般住民と比較して、勃起障害患者における 36 の医学的合併症の有病率およびリスクを評価することである。</p> <p>方法： 2,213 人の勃起障害と 11065 人の背景をマッチさせたコントロール対象者を Taiwan National Health Insurance Research Dataset より選出した。The elixhauser comorbidity index から 22 の合併症、アジア人において高い有病率を有する 10 の病態、および男性に特異的な 4 つの合併症を選択した。年齢および月収を考慮した条件付きロジスティック分析を用いて、地理的要因を調整した、勃起障害の有無と様々な合併症のリスクを評価した。</p> <p>結果： 勃起患者は様々な系統的合併症のリスク増加を認めた。非勃起障害者と比較して、勃起障害患者における合併症のオッズ比 OR は、前立腺肥大 (OR 12.87)、慢性前立腺炎 (OR 9.36)、アルコール中毒 (OR 3.60)、薬物乱用 (OR 2.62)、排尿障害 (OR 2.58)、強直性脊椎炎 (OR 2.19)、末梢血管障害 (OR 1.98)、虚血性心疾患 (OR 1.94)、精神病 (OR 1.97)、うつ病 (OR 1.88)、合併症のない糖尿病 (OR 1.91)、合併症を伴う糖尿病 (OR 1.84)、高脂血症 (OR 1.69)、慢性肺疾患 (OR 1.55)であった。</p> <p>結論： 勃起障害患者は勃起障害を有さない一般住民と比較して、多数の非循環器疾患合併症の高い有病率を有していた。</p>	